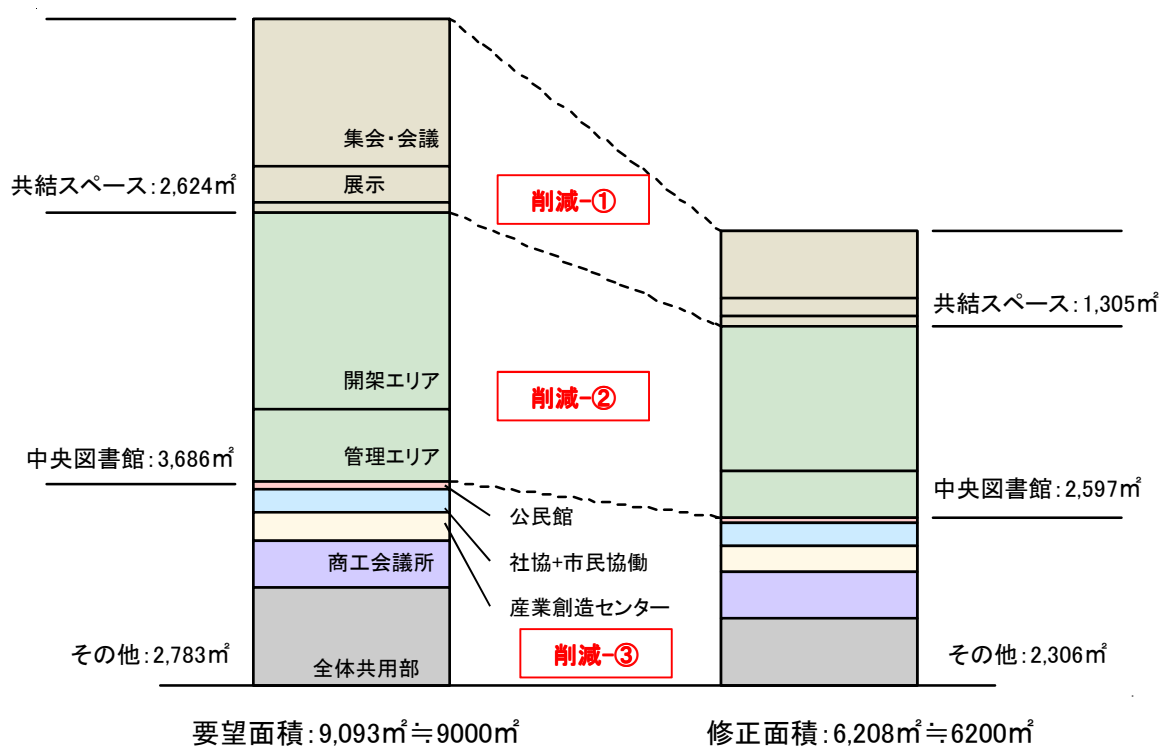


(5) 全体規模の検討

- ・各部門から要望された施設面積の合計 : 9,093㎡ (約9000㎡) 参考資料-①
- ・機能の実現可能性と複合化を調整した面積 : 6,208㎡ (約6200㎡) 参考資料-②



○削減-①：共結スペースの削減

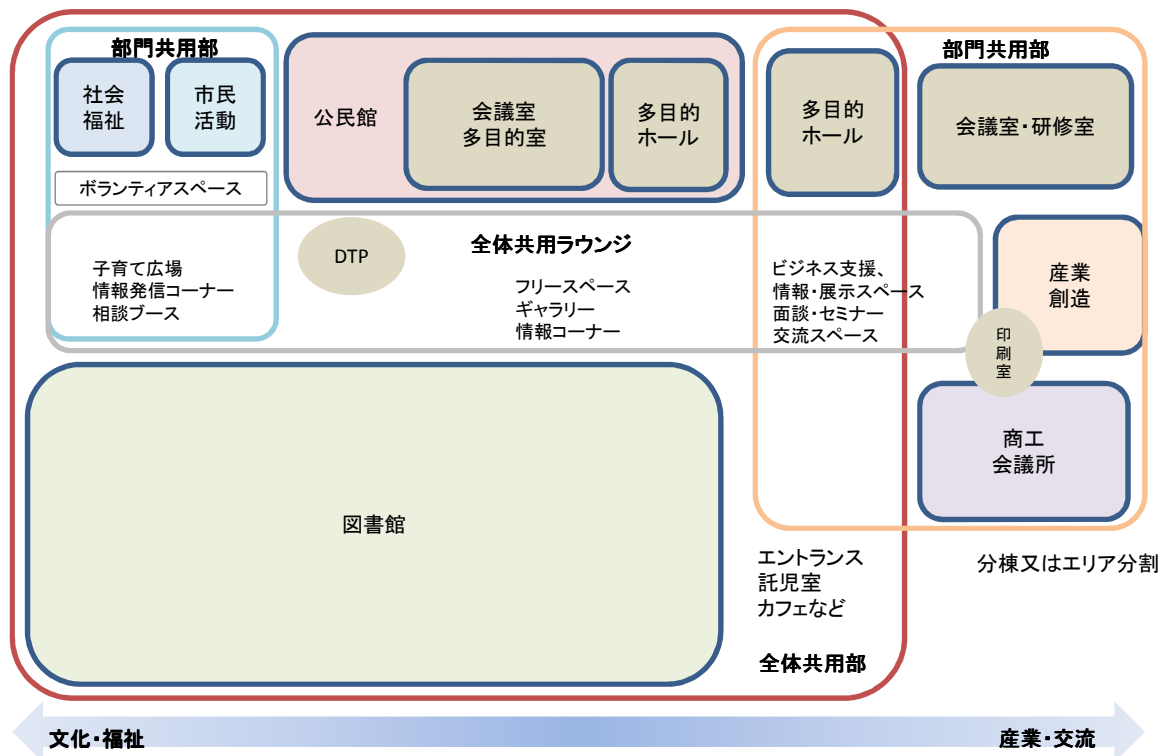
- ・集会、会議 : 想定稼働率を考慮し、共同利用することで部屋数を削減
多目的ホールは収容人員から面積を算定
- ・展示 : 利用方法を確認し、利用時の最大面積を採用

○削減-②：中央図書館の削減

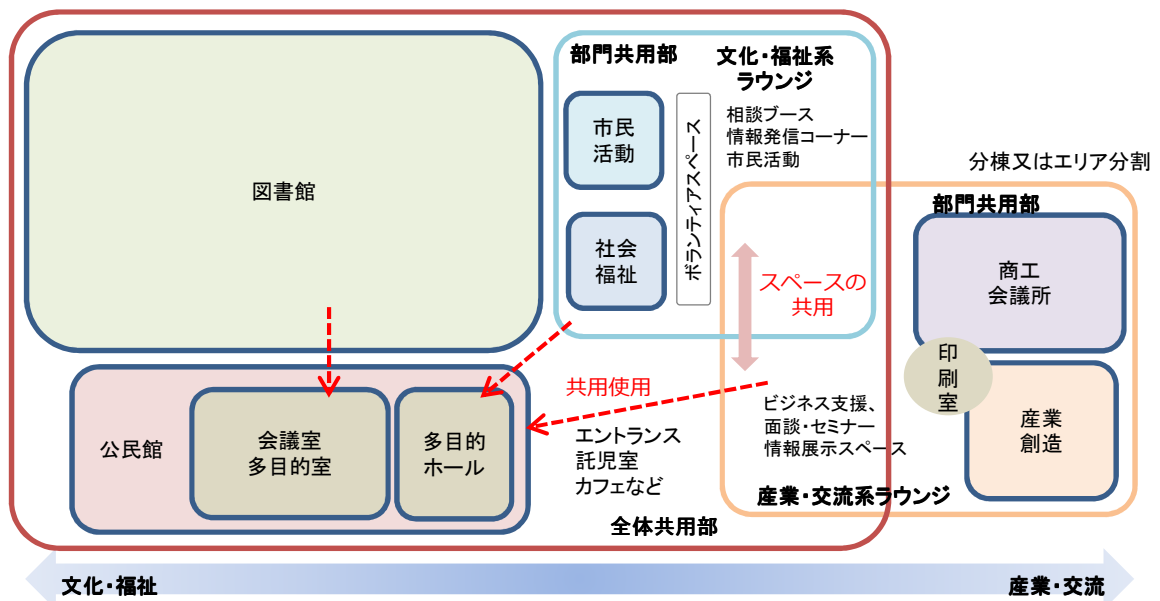
- ・開架エリア : 座席利用率の見直しによる座席数の削減 → 閲覧スペースの削減
共用部で兼用できるスペースは中止
- ・管理エリア : 集密書架数の見直し、余裕スペースの見直し

○削減-③：その他のスペースの削減 → 施設面積縮小に伴う、全体共用部の削減

■各部門から要望された施設面積の合計（最大規模）の施設イメージ（約9000㎡）



■機能の実現可能性と複合化を調整した面積の施設イメージ（約6200㎡）



○駐車場規模の検討 参考資料-③

- ・各部門から要望された駐車台数の合計 : 493台 . . . (A)
- ・稼働率を考慮した調整台数の合計 : 226台 . . . (B)
- ・公用車・サービス車両 : 48台 . . . (C)

	利用状況予測による台数		公用車・サービス車:C (不明分は想定)
	※1:最大台数:A	※2:調整台数:B	
図書館	210	179	5
公民館	51	7	3
産業創造センター	121	22	10
商工会議所	91	9	18
社会福祉協議会	20	9	12
合計	493	226	48

※1:最大台数

- ・図書館の駐車台数は、年間来館者目標人数から週末のピーク時間帯の来館者を算出し、80%が車利用した場合の必要台数にイベント時の余裕率1.2を掛けた値
- ・その他の部門の駐車台数は、利用諸室毎の1回あたりの利用人数×車利用率を算出し合計した値

※2:調整台数

- ・図書館の駐車台数は、年間来館者目標人数から週末のピーク時間帯の来館者を算出し、80%が車利用した場合の必要台数(平常時)
- ・その他の部門の駐車台数は、最大台数に平均稼働率を掛けた値

■必要駐車台数は、利用状況予測による最大台数(A)を採用すると過剰な計画となることが予測されるため、施設利用率を考慮した調整台数(B)を採用する。
 公用車・サービス車は施設稼働中の駐車率を50%と想定し、必要台数に加算する。
 必要駐車台数は、部門別の最大台数以上を確保する必要がある。

- ・必要駐車台数=B+C×50% = 250台 (公用車の駐車率を50%として算定)
- ・250台 ≥ 部門別最大台数: 210台 のため、**計画台数は250台以上**と設定する。